

第93号ファミサポだより

令和7年7月



発行：〒584-8511 富田林市常盤町1番1号
富田林市ファミリー・サポート・センター
TEL 0721-25-1000（内線283）
FAX 0721-24-8976

ホームページアドレス <http://www.city.tondabayashi.lg.jp>

Eメールアドレス k-seisaku@city.tondabayashi.lg.jp

今年は暑さに体が慣れる前から猛暑となっていますが、皆さまいかがお過ごしでしょうか？会員の皆さまにも、年度が替わり、新しい環境で過ごされている方もいらっしゃるかと思います。ファミリー・サポート・センター事業は日々に寄り添い、安心・安全で活動していただけるサポートであるようにと思っておりますので、今年度もご協力よろしくお願いいたします。

令和7年5月31日現在

依頼会員	124名
援助会員	67名
両方会員	11名
合計	202名

活動件数 ◆12月 46件 ◆1月 58件 ◆2月 64件 ◆3月 53件 ◆4月 46件

活動報告書より抜粋



前回のテスト内容を聞くと「むずかしい。でも前までは少ししかできなかったけど、だいぶできるようになってきた。」と力強く話してくれました。頼もしいですね。

（11歳の援助者）

保育園に迎えに行くとちょうど幼虫から育てた蝶を放すところでした。

先生が手に乗せて出すと、しばらくじっとしていましたが、飛び立つと「ワー！」と歓声が上がっていました。（6歳の援助者）

「今日は遠足だ。」とはりきっていました。9時までに登園する事、半そでを着てくる事、長ズボンをはいてくる事、お茶をたくさん入れてくる事。先生との4つの約束をスラスラと言っていて感心しました。（6歳の援助者）

お迎えにいったところ学校の遠足で電車に乗り奈良公園へ行くようで、学校から駅までの徒歩と電車での移動・・・70人くらい、皆がまとまって動けるのか心配していました。全体の事を考えていることに感心しました。（12歳の援助者）

手に絵の具とえんぴつの汚れがついていたので「何を頑張って描いたの？」と聞くと「狭山池を描いた」と教えてくれました。青色がついていたので「きれいな青色だね♪」と言うとニコッと笑ってくれました。

（8歳の援助者）



前回講習会の報告

テーマ：子どもの好き嫌いについて困っていませんか？

日時：令和7年3月14日（金） 午前10時～11時30分

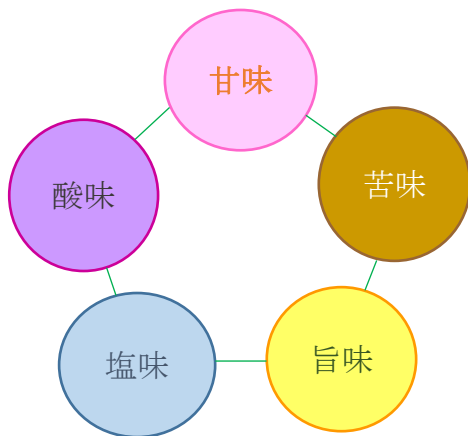
講師：富田林市役所 職員（栄養士）



子どもの好き嫌いについて考える講習会を開催しました。参加者の方には、アンケートを配り自身の好き嫌いについて答えていただき、各自でお持ちの疑問や不安について講師である栄養士に質問をしていただく時間を設けました。人生に関わってくる大事な食は、同じ年齢の子どもでも体格や生活環境によって違いがでます。味覚は生きていくために必要なものを識別する能力であり、成長と共に変化をするのでその時々に合わせて対応をとりましょう。



味覚は、舌の表面にある味蕾(みらい)という器官で感知し、味覚の成長は生後3ヶ月頃がピークであり生後5ヶ月頃から鈍感になります。さらに乳幼児の頃から性別の違いで女性の方が敏感であり男性の方が鈍感という事が分かっています。味蕾は成人男性では乳児の3割減となり、高齢者男性に関しては7割減にもなる為、小さいうちは薄味が良いと言われる由縁や、高齢になるほど濃い味を好む原因はそこにあります。



味覚の基本 = 五味

- ・甘味・・・エネルギー源である糖の存在を知らせる
- ・苦味・・・毒の存在を知らせる
- ・旨味・・・体を作るのに必要なたんぱく質の存在を知らせる
- ・塩味・・・体液のバランスに必要であるミネラルの存在を知らせる
- ・酸味・・・腐敗している、果実などが未熟な事を知らせる

好き嫌いに繋がる原因は様々ありますが、口腔機能が未発達のため食べにくいという事が根底としてあります。咀嚼が弱いと唾液が少なくずっと口の中に残ったり、その逆で早食いで食事時間が短い場合は見直しが必要となります。

保護者の方の中でも多い悩みの「少食」という所でいうと、少食の子には自信がつくようにすこし少ない量を出すと、食べ切った事から「食べ切れた！」という自信が頑張りに繋がる事があります。基本的には家族で食卓を囲み、同じものを食べて共有する事が大切で、少食ということ自体よりも食べれる量がどのくらいなのか、身長・体重が伸びているかを見る事が重要となります。子どもは大人より味覚が敏感である為、単に好き嫌いとしてとらえず個性や成長として向き合って対応する事が大切と言えます。

《参加者の声》

- ・食事について、安心できる時間、楽しい時間であれば良いとの事が心に残りました。
- ・好き嫌いは個性であり、子どもから意見をもらう大切さを学びました。
- ・好き嫌いとは個性だという事が一番印象に残りました。



第1回講習会のご案内



『 子どもの事故防止及び救命講習 』

日時 ☆ 令和7年7月18日(金)、午前10時～11時45分
【受付】 午前9時45分～

場所 ☆ Topic2階 グループ活動室 A ・ B およびワーキングルーム

講師 ☆ 消防署員及び健康づくり推進課職員

内容 ☆ 子どもに多い事故と未然に防ぐための注意点、心肺蘇生法や AED の使用方法など
※大人のみではなく、乳幼児向けの心肺蘇生法等も学びます

対象 ☆ ファミサポ会員 及び 本市民

定員 ☆ 15人 (申し込み先着順)
※保育あり (事前に申し込み下さい)

申込期間 ☆ 令和7年7月1日(火)～15(火)まで

申し込み ☆ 電話: 0721-25-1000(内線 283)
メール: k-seisaku@city.tondabayashi.lg.jp
※メールでの申し込みは、件名に「ファミサポ講習会」とご記入ください。
※右図からでも申し込み可。→



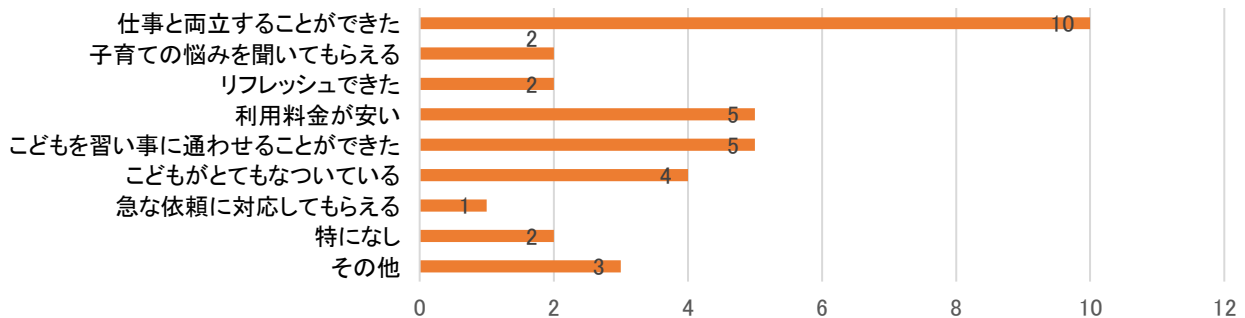
援助・両方会員の皆さまは、救命講習と子どもの事故防止講習が少なくとも**5年に1回**
受講必須になっております。

※当日、お子さんが同伴の場合は保育が必要です。お子さんの飲み物・着替えなどは、各自で
ご準備ください。

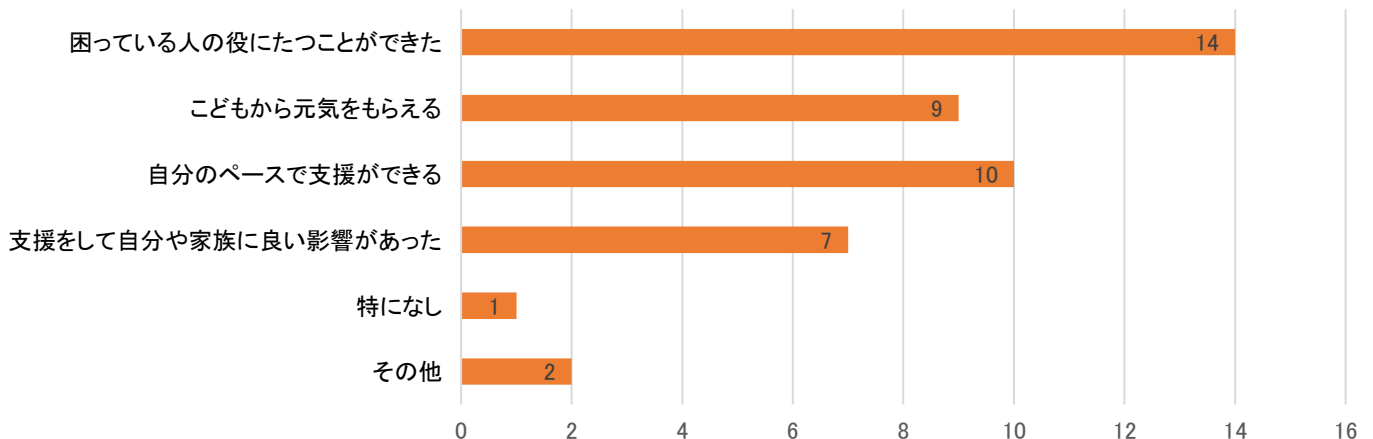
ファミリー・サポート・センター事業に関するアンケート結果

昨年度、実施いたしましたアンケートにご協力いただきましてありがとうございました。
様々なご意見をいただき、現状から課題を見つけ、より良い支援に繋がるよう取り組んでいく所存です。
一部、抜粋して記載させていただきます。

【問】ファミリーサポートに依頼して良かったと思う点について教えてください。
依頼会員・両方会員のみの回答(複数回答可)



【問】ファミリーサポートに登録して良かったと思う点について教えてください。
援助・両方会員のみの回答(複数回答可)



【問】ファミリーサポート制度についてのご意見、お願いなどありましたらお書きください。

- ・ 市でチャイルドシートのレンタルを実施したり、利用料金を一部負担してほしい・・・3人
- ・ 講習会の日付を早めに周知して、日程を何日間か設定してほしい・・・2人
- ・ こどもが寂しくならないようなファミサポの使い方をしてほしい・・・1人
- ・ 元依頼会員として恩返ししたい・・・1人
- ・ 利用料金をもう少し高めに設定してほしい・・・1人
- ・ 無回答・・・16人